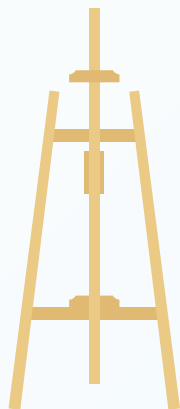


TOYONAKA Keikan Machiaruki Book 2022



【作品制作】
 大商学園高等学校
 美術部・生徒有志
 【協力・ガイド】
 NPO 法人とよなか・歴史と文化の会



豊中市都市計画推進部 都市計画課
 〒561-8501
 豊中市中桜塚 3-1-1 第二庁舎 4 階
 TEL: 06-6858-3143
 令和 4 年 (2022 年) 12 月発行



とよなか 景観

まちあるきブック 2022

石橋阪大前駅～豊中駅周辺

TOYONAKA Keikan Machiaruki Book 2022



令和 4 年度 (2022 年度)



はじめに

豊中市では、「豊中市都市景観形成マスタープラン※」において、まちの好感を楽しみ、共感へと広げる取り組みを実践していく人を「景観スタイリスト」と呼び、さまざまなプログラムを通じて育成の取り組みを進めています。

「とよなか景観まちあるきブック」では、市内の高等学校に通う生徒たちが身近な景観を楽しむ「景観スタイリスト」として、まち歩きを通じて描いた景観スポットのスケッチ等を掲載しています。

みなさんも、実際に生徒たちが見て、描いた景観スポットを訪れてみませんか？

豊中市を
スケッチ！

景観スタイリストとは

身近な景観を楽しんだり、なかまで景観まちづくりに取り組んだり、それぞれの取り組み意欲や興味等に応じて好感を共感へ広げるよう活躍する人のことです。



大阪大学豊中キャンパスの並木

- 身近な景観を楽しむ人
- 好感に気づく人
- 景観センスを磨く人
- 好感を増やす人
- 好感をまもる人
- 景観スタイリストを増やす人
- 景観まちづくりに取り組む人 等



カトリック豊中教会(本町)

景観とは

山や川、池などの自然のながめだけでなく、人がつくった家やビル、道路や公園などの「まち」を構成する景色、風景のことです。

駅の近くのにぎやかなまちや、家が並んだ静かなまちなど、豊中市内でもさまざまなまちの景観があります。



待兼山

景観スポットとは

さまざまなまちの景観の中でも、市内外の方に広くPRすることで、地域の景観への関心を誘うことや景観を見る目を養うことを目的として、景観資源の保全や景観に親しむ機会の提供などにつなげ、多くの人が「いいね！」と好感を感じる景色や場所のことです。



稲荷神社(本町)

今回の「景観スタイリスト」は

大商学園高等学校(利倉東1丁目2番1号)美術部・生徒有志のみなさんです。令和4年(2022年)6月18日(土)に石橋阪大前駅～豊中駅の旧能勢街道沿い周辺のまち歩きを実施しました。



梅雨入り直後で天気心配されていましたが、まち歩き中は太陽が見え、案内人としてお呼びしたNPO法人とよなか・歴史と文化の会の方による文化財等の説明をはじめ、市内の景観スポットに関する案内を受けながら、景観スタイリストとしてまちを歩き、それぞれが気になった景観スポットについて、スケッチ画を作成してもらいました。

※ 豊中市都市景観形成マスタープラン

関連法令や制度を総合的・体系的に表しながら、これからの豊中市の良好な都市景観形成に向けた考え方や進め方などを示す計画として、平成25年度に策定したものです。

- 市ホームページからダウンロード可能です
- 市政情報コーナー、都市計画課窓口で販売しています



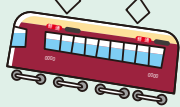
HPはこちら



[計画編]



[推進編]



ISHIBASHI HANDAIMAE
→ TOYONAKA

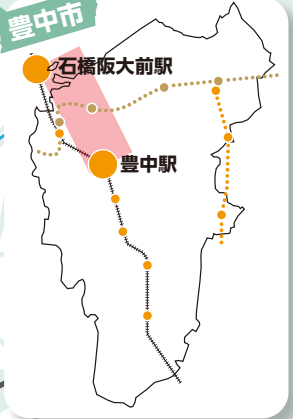
石橋阪大前駅～豊中駅周辺

MAP



道順

- スタート 阪急石橋阪大前駅
- ① 大阪大学総合学術博物館
- ② 待兼山
- ③ 大阪大学共通教育本館
- ④ 大阪大学豊中キャンパスの並木
- ⑤ 北谷の井戸
- ⑥ 首なし地蔵
- ⑦ 常楽寺
- ⑧ 麻田藩陣屋門
- ⑨ 道標
- ⑩ 法雲寺
- ⑪ 稲荷神社(本町)
- ⑫ カトリック豊中教会(本町)
- ゴール 阪急豊中駅



まち歩きの様子



作品一覧

title タイトル
 作者名
 コメント

大阪大学総合学術博物館



title 化石のマチカネワニ
 祝 秀斗
 近隣の歴史や発掘品の中で、このマチカネワニの迫力に圧倒されました。

大阪大学共通教育本館



title 古いのに新しい
 T・M
 この建物はなかなか見えないデザインで、特に上が三角形で青い枠なのがとてもキレイ。

待兼山



title 学徒
 福本 拓実
 大学の広い敷地の中で待兼山に向き合うこの像がとても力強く感じられました。



title 閑かな水面
しず みなも
 中野 寛子
 大学内にひっそりとあった池。ずっとそこにある待兼山のようにゆったりと時間が過ぎていく。

大阪大学豊中キャンパスの並木



title 木木木木
 佐々木 大喜
 ずっと先まで続く木の道、奥を見るとトンネルにも思えて吸い込まれそうになった。

首無し地蔵



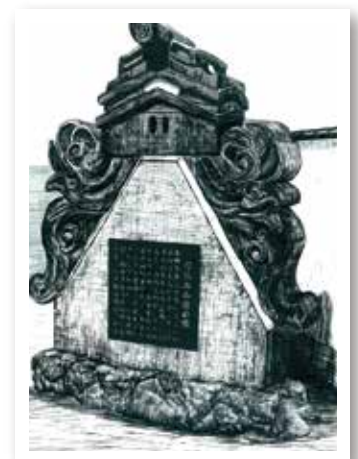
title 悪いことはしてはいけません。
 門田 美咲
 この場所の由来を知った時、中に本当に地蔵さまがいて、見られている気分になりました…。

きただに 北谷の井戸



title カレイド時間
 Y・T
 かつて井戸であった「穴」に堆積した時間を思うと目まがいします。

常楽寺



title モノリス瓦
 Y・T
 屹立する立派な瓦の存在感にただ圧倒され、線で克明に描きたくまりました。

麻田藩陣屋門



title さびれた屋根瓦

祝 秀斗

江戸時代の門の一部がそのまま移されたと知って驚きました。瓦の一つ一つから時間の流れを感じました。

法雲寺



title 木寺公

福井 翔馬

お寺の門の前に立派な松。イベントも様々なことをおこなっているらしく、外も内もインパクトがあります。

稲荷神社(本町)



title 狛犬「うん。」

鈴木 彩愛

向き合っているのは獅子だと初めて知りました。静かな雰囲気思わず「うん。」と言ってしまいました。

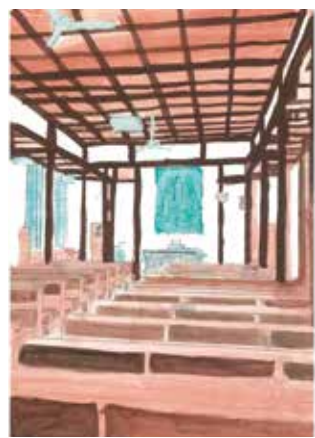


title 気になる木

塩野 亜衣里

神社に佇むひととき大きな木、根元にはあじさいが美しく咲いていて、不思議な“木”分になります。

カトリック豊中教会(本町)



title 和洋中のミックス教会

有川 大星

西洋の教会+和風レトロ+中華風の窓というとても珍しい雰囲気に感動しました。



title マリア様

松井 杏儀

本堂の隣の建物は正面にマリア様の像があって、本堂の素晴らしさに劣らない美しさでした。



title 社殿に続く道

玉城 優香里

入り口に大きな鳥居があり、その奥にある社殿の構図がとてもキレイでした。



title 幾つもの鳥居

中岡 希

鳥居が無限に続く門のように見えて素敵でした。

石橋阪大前駅～豊中駅周辺



大阪大学総合学術博物館

▼待兼山町

昭和6年(1931年)に大阪帝国大学附属病院石橋分院として竣工した建物をリニューアルしたもので、国登録有形文化財に登録されています。展示・講座・研究発表の場として一般開放されており、3階には、校内で発掘された約45万年前の巨大ワニ(マチカネワニ)の全身化石が展示されています。



待兼山 ⑩

▼待兼山町

標高約77mの小丘です。待兼山は「待ち兼ねる」という言葉から、新古今和歌集の周防内侍の歌など多くの秀歌に詠まれ、清少納言の枕草子にも書かれています。また、丘陵一帯からは、弥生時代の集落や古墳などが見つかっており、丘陵一帯が「待兼山遺跡」として国の文化台帳に登録されています。



大阪大学共通教育本館

▼待兼山町

この建物は、大正15年(1926年)創立の旧制浪速高等学校学舎として、昭和4年(1929年)に建てられました。最上階の窓上部を三角にし、外壁窓間に付柱を垂直に通すなど、ネオ・ゴシック建築に見る上昇感覚をもつ意匠が特徴です。大阪大学構内では最も古い建物で、国登録有形文化財に登録されています。



大阪大学豊中キャンパスの並木 ⑩

▼待兼山町

大阪大学豊中キャンパス南側の正門を入ると、直線通路に沿って3つの並木が飛び込んできます。鮮やかな新緑、秋の紅葉、葉を落とした冬景色など、四季折々の潤いあふれる景観が楽しめます。また、沿道の理学部学舎前には昭和39年(1964年)に発見されたマチカネワニ化石出土地点もあります。



北谷の井戸

▼待兼山町

北刀根山の「村明細帳(明和元年/1764年)」に記されている「北刀根山壺ツ井」であると考えられています。『この地を訪れた弘法大師が、杖で正方形を描いて清水がわく場所を教えて下さった。その後も水は尽きることがない。』という伝説が残っています。



首なし地藏

▼刀根山元町

地区の開発工事等に伴い集められた寄せ地藏が約80数体あり、そのうちの一つに市の民話に伝わる「首なし地藏」があります。道標が台石代わりにつかわれており、「右大坂 左桜井」とあります。また、地藏前には、花立石の道標もあります。



常楽寺

▼刀根山元町

貞治2年(1363年)に存覚上人が石橋の地に一字を建てたのが始まりとされています。江戸期には13か寺の末寺を持つ有力寺院で「刀根山御坊」と呼ばれ、境内には、江戸後期、北摂で活躍した医師・園井東庵(麻田藩・青木氏の御典医)の顕彰碑があります。ここは昔刀根山城があったとも言われています。

NPO 法人とよなか・歴史と文化の会について

豊中市からの委託を受けて、「原田しろあと館(原田城跡・旧羽室邸)」の保存と活用に取り組んでおられます。さらに、市内の遺跡や文化財のガイドを通して、「わがまち豊中」の再発見と魅力の発信を行い、歴史と文化の側面からまちづくりに貢献されているボランティア団体です。



【連絡先】

〒561-0801 豊中市曾根西町4-4-15 TEL: 06-6841-3725 (土・日 12時~16時)



麻田藩陣屋門

▼刀根山元町

豊中市域に本拠を置いた唯一の藩・麻田藩の、現在の堂池駅西側付近にあった陣屋から移築された門です。江戸後期の建築と推定され、両脇に居間を持ち両開きの扉の両側にくくり口を設けた”屋敷門”の形式で、屋根瓦の紋は藩主青木氏の家紋である「州浜」です。市指定文化財に指定されています。



道標

▼刀根山元町

二つの道標があり、一つは能勢妙見宮への参詣道を案内するため、茶所講の人が建てたものです。もう一つは天保7年(1836年)に木下道賢が再建したとあり、大阪方面から来る参詣者に刀根山御坊を道案内しています。



法雲寺

▼本町3丁目

法雲寺は慶長18年(1613年)に創建され、特徴ある山門は江戸時代後期の造作と考えられています。楼門形式の2階門で、下階は四足門形式の1間1戸門となり、上階は3間に2間、中央間に花頭形をくりぬいた板を前後にはめ、他は連子窓とし、周囲に組勾欄付の縁を巡らせており、昔は上階に鐘を吊るしていました。



稲荷神社(本町) ⑩

▼本町7丁目

「北摂のおいなりさん」として親しまれている神社で、由緒に「僧行基の創建した金寺に勧請されたと伝わり、織田信長により焼かされた」と記載されており、その後、慶安4年(1651年)に新免、轟木両村の鎮守として再建されました。現在の社殿は一間社流造で昭和45年(1970年)の本殿再建320年を機に境内の整備が行われました。



カトリック豊中教会(本町) ⑩

第7回豊中市都市デザイン賞

▼本町6丁目

信者から寄付されたとされる土地に、昭和14年(1939年)にチェコ人建築家のヤン・ヨゼフ・スワガーの設計で竣工しました。聖堂とそれに隣接するヨゼフ館(集会場)は入母屋屋根、真壁仕上げの平屋建てです。木造和風の教会堂として、極めて貴重な存在となっている、国登録有形文化財です。



⑩の景観スポットは、全て「とよなか百景」に選定されています。



市HPはこちら